

開封

乙卯年四月

却雇外國人雇姓滿期解約

代算雇へる属事上申

為使も雇外國人ルイス、ボーマル、エトウサニ

ドニ、ジヨニ、エフ、スミット三名雇姓へニリー、

エス、モニロ、強勢既満を儀別紙へ通

長条此段も属仕立也

明治二年四月ナナ 割括長官黒田清隆

太政大臣三條實美殿

用 石 吏

五月ヨリ向一々年産経(産事)

玄武光輝城方
日耳曼人

シヨ、エス、スミット

注前條(俗科)由シテ

百者~~七~~月三十日ニ満期ニ以爲八月一日
ヨリ向六ヶ月産経(産事)

鑛山神祇
朱四人

ヘシリ、エス、モニロー

百者~~七~~月三十日ニ満期ニ以爲八月一日
ヨリ向六ヶ月産経(産事)

照會(之)上(之)多(之)冷(之)言(之)或(之)他(之)言(之)沙(之)羅(之)中(之)

善(之)惡(之)必(之)今(之)般(之)引(之)排(之)年(之)事(之)

房抄傳

乙第江十郎号

公用土地買上ノ義上申

本年而三拾貳号法達公用土地買上規則等
 三則院省侵多公用土地買上ヲ要スル中ハ
 事由内務省ニ照會可致云々ト有之候處
 當使ノ義ハ北海道一般に接任中ニ在リ別
 中ノ人民私有地ヲ買上候ハ別様内務省
 照會不及義ト爲候條以テ豫テ上申仕
 候也

明治八年八月十七日

開拓長官黒田清隆

太政大臣三條實美殿

内務省
423号
44号



光

朱